富士ニュース　昭和21年11月15日 第3種郵便物認可　第22515号

体操女子

# オリンピック出場の芦川選手

## 小長井市長を表敬訪問

東京2020オリンピック体操女子種目別平均台の出場権を獲得した芦川うらら選手（富士市久沢）が5日、父親の哲也さんや支援者らと市役所に小長井義正市長を表敬訪問した。

芦川選手は「自分の出せる演技をして、家族や先生方、周りで支えてくれる人たちに恩返しができるように頑張るので応援をお願いします」と意気込みを伝えた。その上で「多くの人から温かい言葉を頂き、地元に残って活動してきてよかった」と話した。

芦川選手を囲んで関係者が記念撮影

小長井市長は「ベストな状態で臨み、思う存分、これまでの成果を発揮すれば結果は必ず付いてくる。素晴らしい演技で世界中に勇気と感動を与えてほしい」と激励。花束と賞賜金を贈呈した。

芦川選手は水鳥体操館、静岡新聞SBS所属の18歳。4人姉妹の末っ子で、姉たちの影響で体操を始めた。小学2年生の時に同館での練習を開始し、平成28年には全日本体操種目別選手権大会の平均台で3位に入賞した。

新型コロナウイルスの影響で五輪が延期される中、大学への進学を1年延期し、高校卒業後も同館で練習を続けて五輪を目指していた。

五輪の選考は種目別ワールドカップ8大会の中で、成績の良い3大会の結果で実施。芦川さんは令和元年のコトブス大会、2年のメルボルン大会、バクー大会で3連覇した。

予選は25日、決勝は8月3日に東京都江東区の有明体操競技場で行われる。富士市は決勝のパブリックビューイングを蓼原町のロゼシアター小ホールで予定している。国の基準やロゼシアターのルールを順守して感染対策を実施。定員を150人とする。

このほか、横断幕を5枚作成し、母校の丘小、西久沢歩道橋、富士駅などに掲出する。